



2023年6月14日

各 位

会社名 株式会社 赤阪鐵工所
代表者名 取締役社長 阪口勝彦
(コード番号 6022 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役執行役員総務本部長
塚本義之
(TEL. 054 - 685 - 6081)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、第126期(2024年3月期)を初年度とする中期経営計画を策定しましたので、お知らせいたします。

詳細については、添付資料をご参照願います。

以 上

注. 本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。本資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。
本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。また、本資料中の情報によって生じた影響や損害について、当社は一切責任を負いません。

2023年度 中期経営計画

2023年4月1日～2028年3月31日



株式 赤阪鐵工所
会社

1. 当社理念
2. 当社を取り巻く環境①②
3. 10年後の目指す姿
4. 中期経営計画重点施策
 - ・ 営業戦略 ①②③
 - ・ 技術開発 ①②
 - ・ 製造工場改革
 - ・ 品質強化
 - ・ 当社が取り組むSDGsアクション
 - ・ ESG経営 ①②③
5. 2023中計目標

経営理念

- 高度な品質管理とスピーディーなサービスをモットーに顧客第一主義を貫き、信頼される製品づくりにより社会貢献を果たします

社是

- 「誠意・親切・感謝・和合・努力」

創業者遺訓

- 決して船主や乗組員に迷惑をかけるような機械を造ってはならない

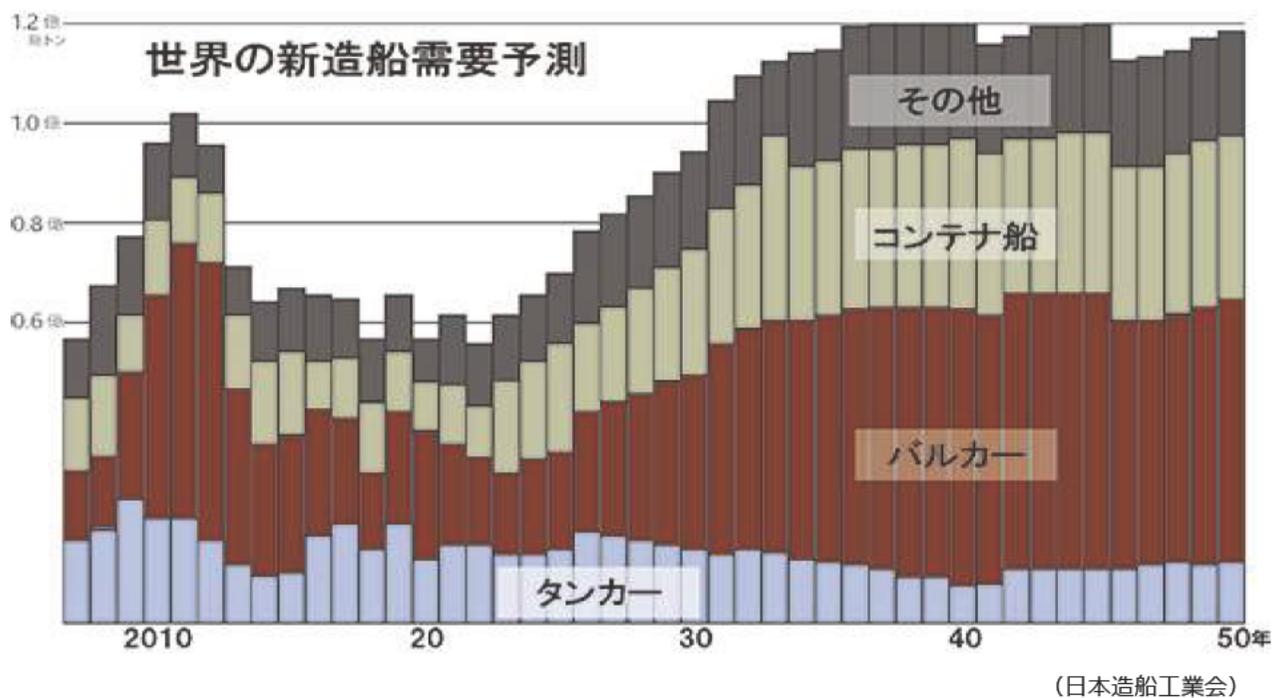
経営ビジョン

- 人と地球環境に優しいエンジンシステムの提供
- 事業の多柱化による成長分野での躍進
- 社員の笑顔を育む次の100年

当社を取り巻く環境 ①(業界動向)

2000年代のミレニアム造船ブーム時に建造した船舶の代替時期を迎え、
2030年から2050年にかけて年間一億トンを超えるレベルで建造需要が継続していく予測

海運・造船業界の2大テーマである「脱炭素」・「自動運航」の分野でエンジンとシステムの差別化を図り、
年間40~50台の生産量を確保し強いエンジンメーカーへの回帰を図る



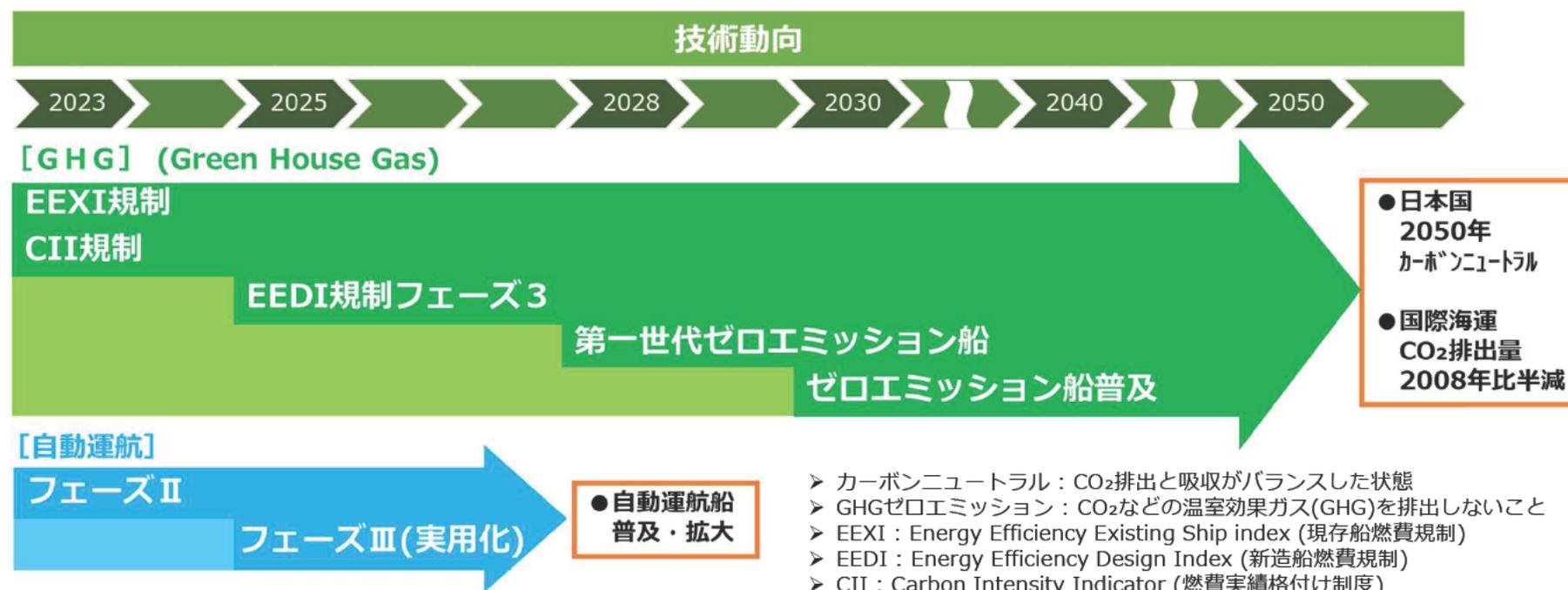
引用元：海事プレスONLINE
《連載》新造船需要の構造変化（上）
「年1億トン」の造工予測を読む
代替需要+荷動き増に脱炭素化需要が追加
<https://www.kaijipress.com/news/shipbuilding/2023/02/173115/#>

当社を取り巻く環境 ②(技術動向)

2050年カーボンニュートラル脱炭素社会実現、海運業界での2028年第一世代GHG(温室効果ガス)ゼロエミッション実船投入などゼロエミ船対応機関の開発競争が激化

海難事故防止、船員不足対応等に対し自動運航船のフェーズⅢ(実用化)を2025年に目指す事が決定
自動運航対応の機関予防保全診断システムの開発が加速

コロナによる世界経済の大打撃で新造船建造、アフタービジネスが激減するも2023年EEXI規制(現存船燃費規制)、2025年EEDI規制(新造船燃費規制)フェーズ3など全方位でのCO₂排出規制強化が開始。
これによる新造船建造回復の機会も出現



強いエンジンメーカーへの回帰

脱炭素

- 既存船用ディーゼルエンジンの高効率化
- 持続可能な燃料に対応した次世代エンジンの開発

自動運航

- AE-Dr.(*)のAI化完成と搭載船舶の拡大
- 自動運航対応機関でのシェア拡大

(*) Akasaka Engine Doctor

事業の多柱化実現

新規事業

- 次世代燃料関連における新規事業の確立
- 防音室・防音床等環境製品の販売拡大

営業戦略

- エンジン部門販売領域拡大と戦略的拡販
- 陸上部門売上拡大
- 新規事業確立

技術開発

- ゼロエミッション機関の開発
- 自動運航対応技術の開発・確立

製造工場改革

- EMS(*)活動
- 電気炉によるCO₂排出削減
- 自動機導入による安定した品質と工程・工数の低減

(*) Environmental Management System
(環境経営管理システム)

品質強化

- DX推進
- QMS(*)活動
- 環境新技術対応
- アフターサービス力強化

(*) Quality Management System
(品質管理システム)

ESG 経営

- 製品づくりを通じた環境保全の推進
- 安全・安心への取組み、より豊かな社会の実現
- コーポレートガバナンスの強化

主機関：国内シェア奪還とアジア販売網確立

- オペレーター、船主、造船所の三位一体活動強化
- アジア市場に向けた販売網強化
- EEDIフェーズ3、CII対応技術を武器に全社営業

部分修理品：フォア・アフターサービス強化

- 自動見積システムによる見積迅速化
- 海外船への部分品販売ネットワーク強化
- AE-D r .によるTBM(※1)・CBM(※2)で販売拡大

(※1) Time Based Maintenance (時間基準保全)

→期間を決めて修理や部品交換をおこなう

(※2) Condition Based maintenance (状態基準保全)

→状態や使用状況を基にメンテナンスをおこなう

環境規制対応製品による市場開拓

- 次世代燃料（バイオ燃料・LNG・メタノール・アンモニア・水素）適合機種の販売
- ハイブリッド型主機関の販売

大型製造設備を活用した鋳物、機械加工の受注拡大
新規取引先開拓による売上拡大

鋳物製品

新設備による付加価値の高い鋳物の提供



ポンプ揚水管



建築用免震装置

金属機械加工

最新機械による各種加工の提供



門型5面加工



旋盤加工

開発品

事業企画室との連携で新商品の提供



シャシダイナモ



準天頂衛生用アンテナ

新しい柱となる新規事業への挑戦

脱炭素

- 次世代燃料（バイオ・水素・メタノール等）関連における新規事業の確立
- CO₂回収関連事業への参入



快適な音環境

- 船舶向け防音室「マーリエ」の販売
防音床「マーリエアイナ」の販売
- 陸上向けオリジナル防音室の販売
オリジナル防音床の販売



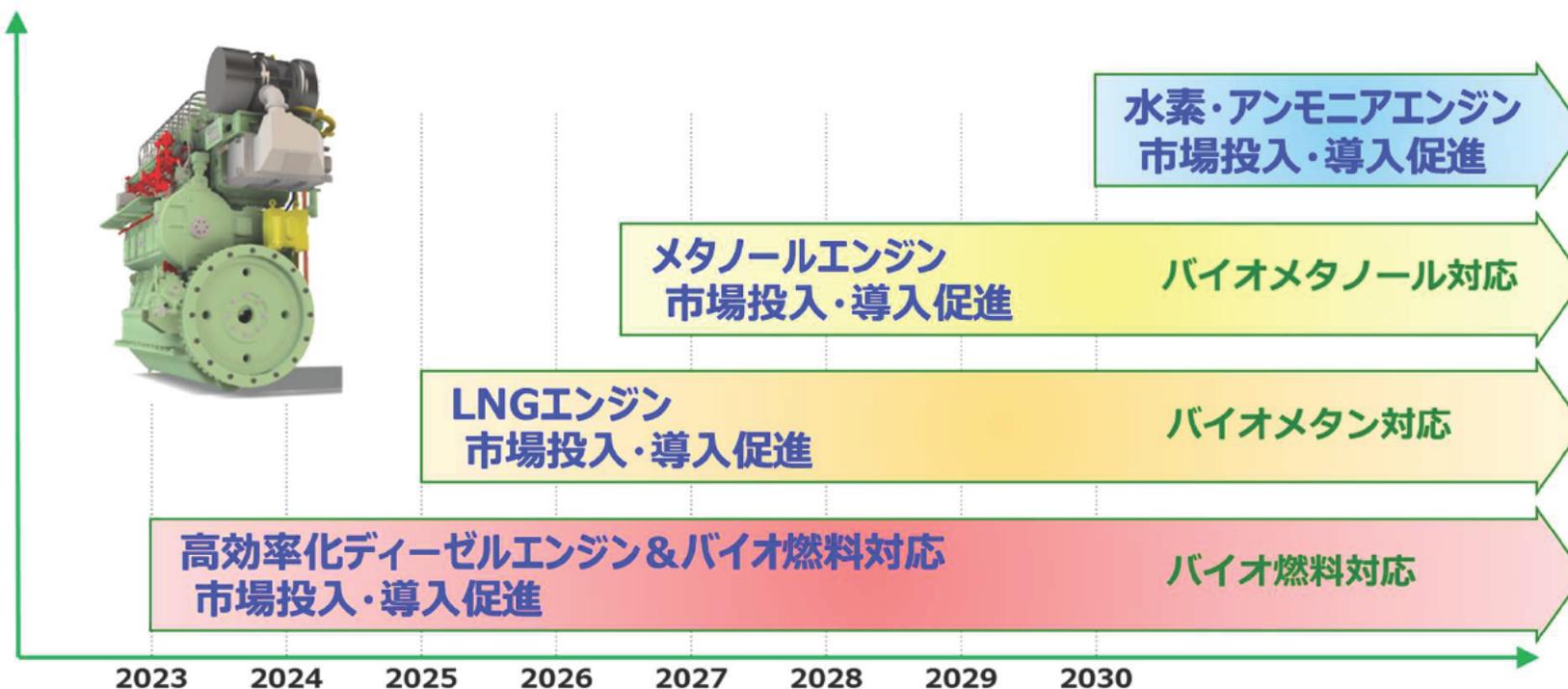
成長分野への参入

- 市場を持っている他社との連携や
M&Aを活用した新規事業の立上げ
- 他社との連携による新規事業の
範囲拡大・差別化



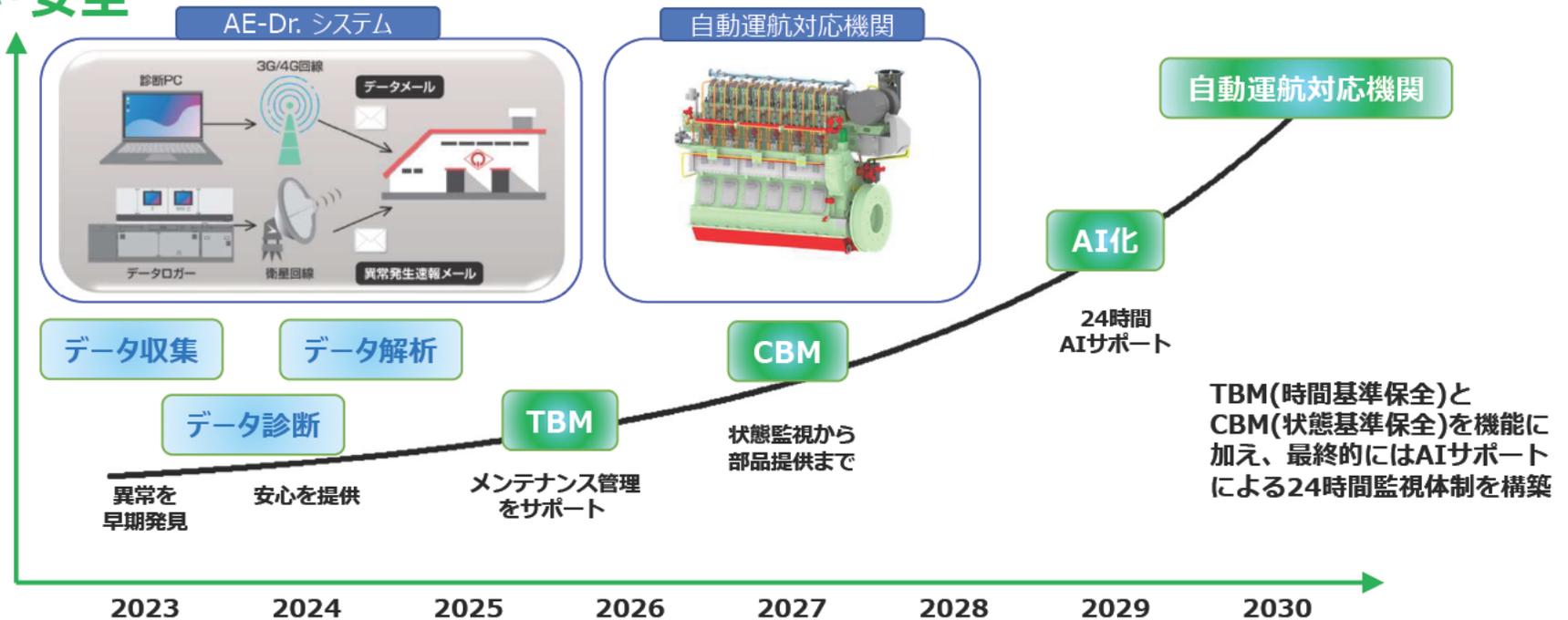
既存船用ディーゼルエンジンの高効率化と持続可能な燃料に対応した次世代エンジンの開発を進めます

CO₂削減



A I 技術等の高度な技術を活用したシステムで安全と安心をお届けします

安心・安全



環境に配慮した製造工場実現に向けた電気炉導入によりCO₂排出削減
自動機の導入により安定した品質と工程・工数低減を実現し、省エネに繋がります

鑄造工場

電磁誘導方式で脱炭素化に貢献
(CO₂排出量を43%以上削減)



高周波誘導炉

機械工場

工程集約で効率化と省エネを実現
安定した品質と工数低減を両立



大型複合NC旋盤



大型CNC旋盤

製品工場

環境対応エンジン製造設備導入



環境対応機関運転工場



排気ガス再循環装置

経営理念『高度な品質管理とスピーディーなサービスをモットーに顧客第一主義を貫き、信頼される製品づくりにより社会貢献を果たす』を実現させるため、業界No.1の品質とアフターサービスを目指します



|  DX推進 |  QMS活動 |  環境技術対応 |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル検査機器 ◆検査記録データベース | <ul style="list-style-type: none"> ◆QMS継続的改善 ◆品質強化アクションプログラム | <ul style="list-style-type: none"> ◆EMS継続的改善 ◆NOx削減新技術 ◆CO₂削減新技術 |

|  対応力増強 |  AE-Dr.監視室 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆エンジニア ◆国内委託会社 ◆海外ネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ◆採用船拡大 ◆部門連携体制 ◆AI診断システム 24h サポート体制 |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

「人と地球環境に優しいエンジンシステムの提供」

私たちは、100年を超えるエンジン製造で培った技術、ノウハウを環境に優しい製品づくりに活かし、右記の項目に取り組むことによりSDGsの達成に貢献してまいります

環境に優しい製品づくり

- ・船舶ゼロエミッション化への取り組み
- ・GHG（温室効果ガス）排出削減
- ・NOx（窒素酸化物）排出削減
- ・SOx（硫黄酸化物）排出削減
- ・PM（煤塵）排出削減



自動運航への取り組み

- ・AE-Dr. 開発



海に関わるものの責任

- ・シップリサイクル条約への対応
- ・海洋ごみ清掃活動の実施



働きやすく、人に優しい職場環境づくり

- ・工場廃棄物の分別処理、再利用
- ・太陽光発電設備の設置
- ・次世代活躍推進
- ・女性活躍推進



ステークホルダーとともに

- ・サプライチェーンマネジメントの最適化
- ・コンプライアンスの遵守
- ・コーポレートガバナンスの充実



環境

社会

ガバナンス

製品づくりを通じた環境保全の推進

製品を通じた地球環境への貢献に加え、製品づくりにおける環境負荷も低減することで、脱炭素・循環型社会形成への取組みを推進していきます

太陽光発電の導入

当社使用電力の一部を再生エネルギーに転換すべく、豊田工場製品工場の屋上に太陽光パネルを設置しています



CO₂排出削減設備の導入

カーボンニュートラル実現のため、工場内でCO₂の排出量が多いキューポラから電気炉に移行しました
(令和4年度環境省SHIFT事業認定)



エコステージ認定取得

ISO9001に加え、ISO14001と整合性の高い環境経営管理システム「エコステージ1」「エコステージ2-CMS」の認証を取得しています



安全・安心への取組み、より豊かな社会の実現

働きやすく、人に優しい職場環境づくりを推進するとともに、地域社会の活性化に向けた社会貢献活動の取組みを推進し、より豊かな社会の実現を目指します

働きやすい環境の実現

年休取得率向上、男性の子育て目的の休暇、看護・介護休暇の取得促進など、従業員のライフステージに応じた働きやすい環境づくりに取り組んでいます



機能別消防隊を組織

地元焼津市で不足している機能別消防隊に、従業員による機能別消防隊を組織して参加し、地域防災活動に貢献しています



地域清掃活動

地域美化活動に継続して参加し、近隣海岸の清掃活動や両工場敷地周辺の清掃活動に取り組んでいます



コーポレートガバナンスの強化

すべてのステークホルダーから信頼される企業であり続けるために企業倫理の重要性を認識し、経営の健全性と企業統治の強化を優先課題の一つと定めています

リスク管理の充実

リスクの未然防止や発生時の被害を最小化するため、多様化・複雑化するリスクを顕在化して適切に把握するよう、リスク管理の充実に取り組んでいます



健康経営優良法人認定取得

経営的な観点で従業員の健康管理を捉え、様々な健康増進プロジェクトを推進してその姿勢を評価いただきました



各種研修の実施

業務に必要な資格取得支援をはじめ、新入社員向け・若手技術者向けなど、各層の知識や技量の向上を目的に多様な研修を実施しています



(2027年度)

| | |
|------------|--------------|
| 売上高 | 120億円 |
|------------|--------------|

| | |
|-------------|------------|
| 経常利益 | 5億円 |
|-------------|------------|